



三角山

令和8年度特別号

NO. 972

札幌市立三角山小学校

<https://www.sankakuyama-e.sapporo-c.ed.jp/>

令和8年度 前期児童・保護者アンケートより

主幹教諭 山田 了己

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、過日実施しました学校評価に関わる児童・保護者アンケートの結果を共有いたします。アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。

	児童アンケート		保護者アンケート	
	項目	肯定的な回答	項目	肯定的な回答
感謝と尊重の気持ち を伝える子どもの育成	家族や地域の方、友達に自分から進んであいさつをしていますか。	92.6%	お子さんは、家族や地域の方に自分から進んであいさつをしていますか。	76.4%
	家族や周りの方に、感謝の言葉（ありがとう）を伝えていますか。	92.0%	お子さんは、家族や周りの方々に、感謝の言葉を伝えていますか。	85.9%
人間尊重の教育①	学習や生活を通して「頑張った」「成長した」と感じることはありますか。	88.0%	お子さんは、学校で頑張ったことやできるようになったことを家でお話していますか。	90.6%
	友達の良いところや頑張りを見付けて、相手に伝えることはできましたか。	72.6%	お子さんの話から、友達の良さや個性を認め合い、大切にしている様子が伝わってきましたか。	93.5%

今年度のアンケートより、「あいさつ」に関する項目を追加しました。児童と保護者のアンケート結果に大きな差が見られます。子どもたちの「意識」の高まりを大切にしながら、行動につなげていくことを大切にしていきます。校内のあいさつにとどまることなく、家庭や地域でも「自分から進んで」挨拶することができるよう、指導を継続していきます。また、登下校等の機会を活用して挨拶の輪が広がっていくような環境づくりをしていきます。

また、友達の良さや頑張りを伝え合える場をより一層大切にしながら、温かい人間関係を築くことができるように努めていきます。

	児童アンケート		保護者アンケート	
	項目	肯定的な回答	項目	肯定的な回答
学ぶ力の育成	学習の中で、自分から考えたり、意見を発表したりしていますか。	73.6%	授業参観、行事、家庭学習等から、お子さんの自ら進んで学ぶ姿勢が見られますか。	76.2%
豊かな心の育成	友達や先生の話最後までしっかりと聞き、相手の考えを受け止めてから自分の思いを伝えることができましたか。	77.1%	お子さんは、家族や周りの人の話に耳を傾け、相手の考えを受け止めながら話をする事ができていますか。	85.8%
健やかな体の育成	休み時間や体育の時間に、進んで遊んだり運動に取り組んだりすることができましたか。	84.1%	お子様は、放課後や休日などに、進んで外遊びや運動をしていますか。	69.8%

主体的に考えを伝え合ったり、放課後や休日に運動に取り組んだりすることに課題が見られます。全体での発言に苦手意識をもつ児童へも配慮し、ペアやグループで考えを伝え合う場面を増やしていきます。

また、学校で意欲的に運動に取り組む姿を家庭での習慣へと広げていけるよう、体育での学びと運動した取り組みや家庭と連携した体力作りを推進し、心身ともに健やかに成長できる環境を整えていきます。

	児童アンケート		保護者アンケート	
	項目	肯定的な回答	項目	肯定的な回答
いじめの未然防止	学校はあなたの「居場所」として安心して過ごせる場所だと感じていますか。	77.1%	学校は、すべての子どもが安心して学校生活を送れるよう、いじめの防止に努めていると感じますか。	82.8%
ICT教育の推進	一人一台端末を使う約束を守り、勉強の道具として上手に使っていますか。	92.1%	お子さんは、一人一台端末を学習用具としてルールを守って使っていますか。	89.6%
学びの活用	学習や生活習慣について、自分で計画や目標を立てて、それを続けようと努力していますか。	79.6%	「まほうのかいわ」などを参考に、お子さんは自分で計画や目標（めあて）を立てて、学習や生活習慣の改善に取り組んでいますか。	58.5%
自己推進的な活動	学校生活をよくするために『〇〇したい』という考えを伝えたり、みんなで決めたことに進んで取り組んだりできましたか。	75.1%	お子さんは、学校の活動（係活動・委員会・行事等）や地域行事などに『進んで参加しよう・より良くしよう』という思いをもって、取り組んでいますか。	83.0%

計画的な生活習慣づくりや学級・学校への参画意識には伸びしろが見られます。 今後は、学校での目標や計画を実践につなげていけるよう自己管理能力を育ててまいります。また、児童会活動の場を大切に、子どもたちの思いを実現する機会を増やし、「自分たちの手で学校をよくしている」という実感や参画意識を高められるよう支援の在り方を工夫していきます。